

軍都大阪の計画思想と都市形成に関する研究

現代システム科学域・環境システム学類・環境共生科学課程
深野聡実（阿久井ゼミ）

1. 研究目的 近代以降、大阪には「軍都」という都市構想が存在した。その拠点となった大阪城周辺地区は、上町台地の北端に位置し、四方を河川に囲まれる地形的特徴により、古代より大阪の中心であり続けた。そして、この地に「軍都」の基盤となる大阪砲兵工廠が置かれ、近代大阪の一翼を担った。本研究では、大阪砲兵工廠、ひいては軍都大阪の都市構想の実現に向けた計画思想の内容を明らかにし、これらの影響や周辺の都市形成との関係を解明することを目的とした。

2. 研究方法 本研究では大村益次郎の「軍都大阪構想」を筆頭に、まずその歴史的経緯と内容を明らかにした。また、大阪砲兵工廠創立が近代大阪の都市形成にもたらした枠組みとして、生活に必要な要素とされる衣食住の一つの【住環境】、近代化の指標として捉えられる鉄道や道路網などの【交通】、産業集積などの【工業】の観点から分析を行った。【住環境】近代化の条件とされ、大阪城周辺地区の地形的特徴を利用してつくられた[上水道]や、砲兵工廠の職工により形成された[職工街]、砲兵工廠創立に伴う近代化の過程で消失することになった[猫間川]の三つの視点から、『大阪砲兵工廠沿革史』、大阪市編『特別史跡大阪城保存計画』や三宅宏司著『大阪砲兵工廠の研究』、『大阪春秋』などの雑誌、また、『日本近代都市変遷地図』などを用いて都市形成への影響や変遷を把握した。【交通】砲兵工廠を狙った空襲時に大阪城周辺地区の延焼防止策として機能した[疎開道路]や、砲兵工廠の影響による都市化の東部への伝播のきっかけとなった[鉄道]の二つの視点から、『大阪大地図』『東成郡誌』『東成区史』などを用いて都市形成への影響や変遷を把握した。【工業】砲兵工廠が下請工場への製品発注に加え、砲兵工廠の職工が独立創業することで形成された[産業集積]やその集積を通じた[人的ネットワーク]という二つの視点から『大阪市工場一覧』や大阪産業史に関する既往文献などを用いて都市形成への影響や変遷を把握した。

3. 軍都大阪の歴史的経緯 明治維新後の近代大阪の都市形成にあたり、大村益次郎による「軍都大阪構想」の存在が示された。その構想では、軍の諸施設、例えば病院、医学校、各種軍器の製造所などが示された。その中心となった大阪砲兵工廠は、創設から終戦まで一貫して陸軍火砲生産の中心的役割を果たし、水道管や橋梁などの製造も行い、大阪の金属・機械工業発達を下支えする役割を担ったことが明らかになった。

4. 軍都大阪構想が近代大阪の都市形成に与えた影響 【住環境】大阪市の[上水道]の歴史は、明治28年、大阪城天守台の東側に配水池が建設されたことに始まる。これは、大阪城周辺地区が高台に位置し、配水池の位置関係と密接に関係している。また、水道用鉄管には、輸入品と砲兵工廠の製品を使用した。そして、水道の普及は火災の延焼防止や伝染病減少などにも貢献し、久保田鉄工所が鉄管製造に注力することにも寄与した。また、職工が暮

らしを営んだのは、工場から約 1 km 圏内の地域に加え、砲兵工廠に隣接する駅周辺地域であり、これらの地域が「職工街」として形成していたと考えられ、砲兵工廠東部の中本町や玉造などの城東線沿線の駅周辺地域の発展に寄与した。そして、右岸に城東練兵場、左岸に砲兵工廠が控える「猫間川」は、工場の廃棄物などが垂れ流され、以降の猫間川の井路川化を進め、暗渠化の背景になった。【交通】「鉄道」に関して、明治 28 年開通の大阪鉄道城東線は、軍事施設が集中している大阪城周辺地区を通過し、玉造と砲兵工廠の間に専用線が敷かれた。そして、大阪電気軌道との相互的な影響や、のちには大阪市電今里線との結合により、今里を含む東部地域に伝播した。また、空襲による延焼を防ぐために建物疎開が行われ、その結果、広幅員の「疎開道路」が敷設されるなどの副次的影響を示した(図 1)。【工業】砲兵工廠は大阪の金属・機械工業



図 1 軍都大阪を取り巻く都市形成図

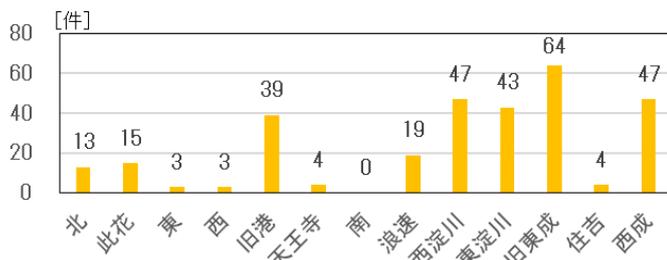


図 2 鑄鉄・鑄物工場増加数(S1-S13)

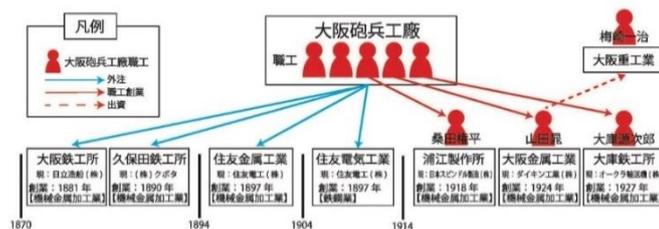


図 3 砲兵工廠に関与した職工の人的ネットワーク

工業発達の先駆けとなった。特に、昭和元年から昭和 13 年の間の鑄鉄・鑄物工場の増加数は、大阪市の中で旧東成区が最多であった(図 2)。このことから、東成区に砲兵工廠を起点とする「産業集積」が生じていたことも推察できる職工の「人的ネットワーク」(図 3)は、昨今の企業や発展に影響を与えたことが分かった。

5.まとめ 第 1 章では大阪城周辺地区を調査対象地にした理由を地理的特性の観点から述べた。第 2 章ではその特性によって、大村益次郎が「軍都大阪構想」の実現場所に大阪城周辺地区を選定したことと、その思想の実態を明らかにした。第 3 章では大阪砲兵工廠を中心に軍都大阪の歴史的経緯を解明し、第 4 章では砲兵工廠の創立によって、近代大阪が【住環境】【交通】【工業】の面で、様々な影響を受けたことを明らかにした。その影響には、急速な近代化による生活環境の悪化といった負の側面も含まれていたが、大大阪という都市形成の歩みを辿るうえで、直接的あるいは副次的な影響を与えたと言える。